



ネット社会をかしこく、ゆたかに生きる

9/13(金)「いじめ等の人権課題について考え、命を大切にする態度を育てる」ことを目的に「命の集会」を開催しました。県内で情報教育啓発活動を展開されている戸田 俊文先生を講師に迎え、「ネット社会を かしこく、ゆたかに生きるために」について講演をいただきました。子どもたちは、インターネットを豊かに使う3つの力として、①表現力、②コミュニケーション力、③想像力が必要であること、これらの基盤として人権尊重(思いやり)が大切であることをしっかりと学びました。また、保護者の皆様の多数のご参加ありがとうございました。

たくましく



命を守り たくましく生きる子ども

- ①健康教育の推進
- ②食に関する指導の充実
- ③危機管理体制の整備
- ④幼・保、小、中の連携

めざす児童像③

「命を守り たくましく生きる子ども」

本校の「めざす児童像」のうち「たくましく」では、「命を守り たくましく生きる子ども」を目指して、左図の①～④の重点努力事項を中心に取組を進めています。

特に、①「健康教育の推進」では、ご家庭と連携して児童の健康管理に努めています。本校では、1学期前半に健康診断を実施し、その結果をお知らせしていますが、その後の受診等が進んでいない状況です。特に、歯科検診の結果、う歯(むし歯)保有者について治療が済んだ児童は、現在、全体の5割に達していません。まだ受診が済んでいない場合、速やかなご対応をお願いします。児童の健康を守る第一義的責任を有するのは、保護者です。自分の命や健康を守り、逞しく生きる子どもの育成を図るため、ご理解とご協力をお願いします。